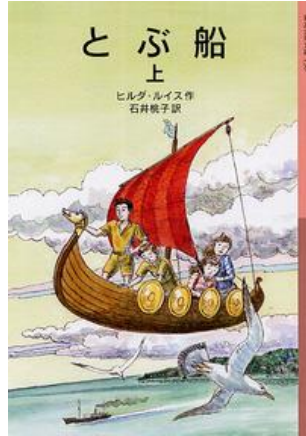


とぶ船 上・下



ヒルダ・ルイス/作
石井桃子/訳
岩波書店（岩波少年文庫）
上[3-0206004621]
下[3-0206004622] **ル**

ピーターがうすぐらい店でみつけた小さな船には、魔法の力がありました。ピーターたちきょうだいが願うとたちまち大きくなって、望むところへつれていってくれるのです。海を越えてエジプトへ、800年前のイギリスへ、北欧神話の世界へも。

10歳の質問箱 なやみちゃんと 55人の大人たち



日本ペンクラブ「子どもの本」委員会/編
鈴木のりたけ/絵 小学館
[3-0500279956] **15**

勉強は、どうしてしなくてはいけないのですか？ どうしたらモテる？ 戦争は、なぜなくならないのですか？ 34の質問に作家やマンガ家、俳優など言葉のプロが答えます。なやみや考えていることのヒントが、見つかるかもしれません。

ぼくと石の兵士

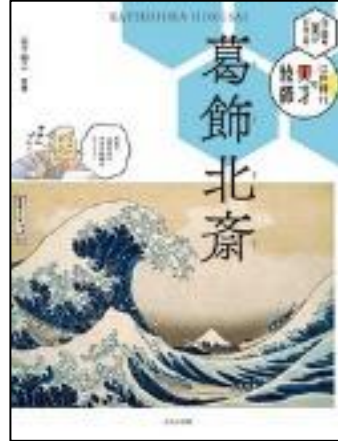


リサ・トンプソン/著
榎田理絵/訳 PHP研究所
[3-0500830075] **ト**

ぼくは毎日、公園にある兵士の石像に、学校のこと、将来のことを話している。父さんはいないし、母さんは具合が悪いから。でも、その石像が取りこわされてしまいうらしい。なんとかして、ぼくが石の兵士を守らなきゃ。

伝統の美がひかる！江戸時代の天才絵師

〔1〕葛飾北斎 **シリーズあり**



山下裕二/監修 ほるぷ出版
[3-0500932213] **72**

葛飾北斎は江戸のスーパー絵師。90歳くらいで亡くなるまで進化を続け、表紙の『神奈川沖浪裏』の波は、若いころの作品と比べてダイナミックな描き方に。変顔の漫画からこわくて不思議な妖怪の絵まで、多様な作品をごらんあれ。

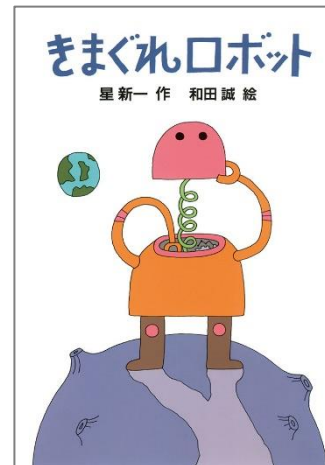
火星のライオン



ジェニファー・L・ホルム/作
もりうちすみこ/訳
ほるぷ出版
[3-0500937424] **ホ**

ぼくはベル。火星のアメリカ入植地で暮らす11歳。厳しい規則はあるけど、毎日愉快地に暮らしている。けれどある日、何か大きなものがすごいスピードで落ちてきたんだ。エイリアンの宇宙船？ ぼくたちは大人に内緒で見に行くことにした。

きまぐれロボット

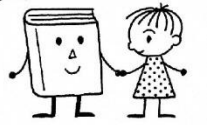


星新一/作 和田誠/絵
理論社
[3-0199034395] **ほ**

くすっと笑ったり、ドキンとしたり、へーっと思ったり、8ページで読みきれ「ショート・ショート」が全部で31話。どこから読んでもだいじょうぶ。1つ読むと、ついでの話も読みたくなって、止まらなくなりますよ。

読んでみよう こんな本

2023



5・6年生

横浜市立図書館

電話 045-262-0050

□は ラベルの記号（本のあるばしょ）
〔 〕は 本を 予約するとき
「よやくもうしこみしよ」に書く番号です。



ブラックホールってなんだろう？



嶺重慎/文 倉部今日子/絵
福音館書店
[3-0500971606] **44**

なぞ謎につつまれた天体、ブラックホールをしてみました。ブラックホールは、あらゆるものをすいこみます。光まですいこむので真っ黒に見えます。これまで「こわいもの」と思われていたけれど、地球の誕生とかかわりがあるかもしれません。

リメイク！



あさだりん/作 いつか/絵
フレーベル館
[3-0500961868] **あ**

わたしは、六年生になって手芸クラブのクラブ長になっちゃった。背が高くて髪の毛の短いわたしが手芸クラブだと意外？ クラブ唯一の男子がからかわれるのもモヤモヤする。こうなったら、バザーで「手芸クラブすごい」って言わせてみせる！

だれも知らない小さな国

コロボックル物語①



佐藤さとる/作 村上勉/絵
講談社
[3-0190445006] **さ**

小学生のぼくが見つけた小山。杉林といずみがあり小川が静かに流れていた。そこには大昔から小人の「こぼしさま」たちが住んでいた。大人になったぼくは小山を手に入れ、「こぼしさま」たちと小山の自然を守ろうとする。

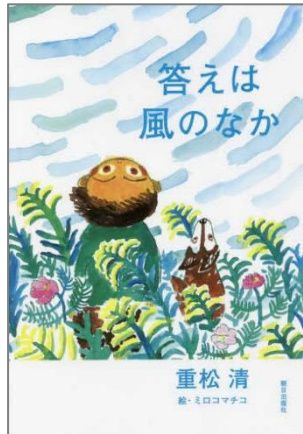
野鳥のレストラン

森下英美子/文 新開孝/写真 少年写真新聞社
[3-0501009898] **48. 8**



桜のみつを吸うスズメ、セミの幼虫をほりかえすカラス。木の上や草むら、水辺や街の中など、私たちの身近な場所に野鳥のレストランはあります。食事の瞬間をとらえた写真から、おどろきがいっぱい鳥たちのくらしが見えてきます。

答えは風のなか



重松清/著
ミロコマチコ/絵
朝日出版社
[3-0500929123] し

ぼくは、スポーツ万端で人気のある中村くんに親切にしたら、いいヤツと呼ばれて嬉しくなった。すると、宿題見せてとか、日直を代わってとか頼まれるように。なんだかモヤモヤした気持ちになってきた。（「いいヤツ」より）全10話。

はじめての脱炭素



すなだゆか/作・絵
小峰書店
[3-0500945417] 51.9

「脱炭素」ってなんだろう？ それは「二酸化炭素の排出をできる限りおさえる」こと。なんだかむずかしそうだけど、地球の異変を止めるためには、大切なことなんだ。わかりやすい図とイラストで疑問を解決し、何ができるか考えてみよう。

だれよりも速く走る義足の研究



遠藤謙/著 偕成社
[3-0500976877] 49

エンジニアの著者は、友人の病気をきっかけに義足の研究を始めました。障害とは「かわいそう」ではなく、テクノロジーにより、もとの身体能力を超える秘めた可能性もあると気づきます。選手の動きを観察し、人類最速の義足をめざします。

ノレノレかるた 二人でつくる卒塾制作



こまつあやこ/著
毎日新聞出版
[3-0500982890] こ

絵を描くのが好きな小春と、文章を作るのがとくいな英。塾で出会った2人は、友だちや先生たちとの思い出がつまった塾生活の証として、卒「塾」制作でかるたを作ることになりました。でも小春は、英と自分の差にとまどいはじめます。

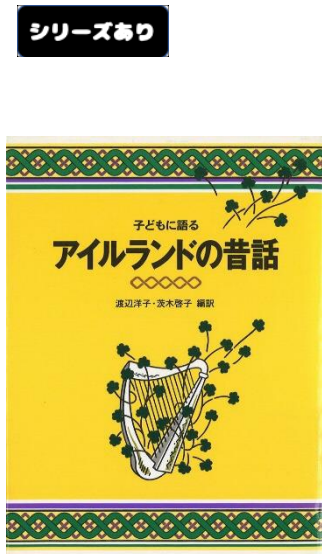
たったいま 谷川俊太郎詩集



谷川俊太郎/詩
広瀬弦/絵 講談社
[3-0500745742] 91

「ぼくは四十きみは十／としは少しはなれているけど／おんなじ時代のおんなじ国に／ぐうぜんいっしょに生きている」（「あくび」より）ことは遊びの詩や、生きる喜びをうたった詩が、38編載っています。

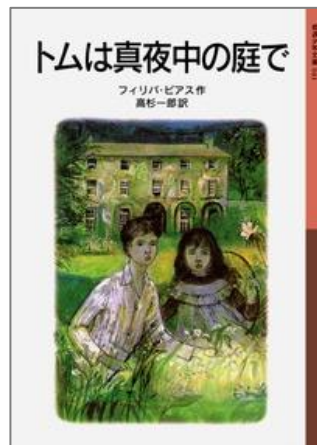
子どもに語るアイルランドの昔話



渡辺洋子/編訳
茨木啓子/編訳
こぐま社
[3-0199059366] 38.8

あらしの夜、島に一人のこされたおかみさんが羊の毛をすいていると、いきなり戸が開いて三人のみにくい年取った女たちが入ってきました。（「妖精の丘が燃えている」より）物語の宝庫アイルランドの不思議な昔話の世界をどうぞ。

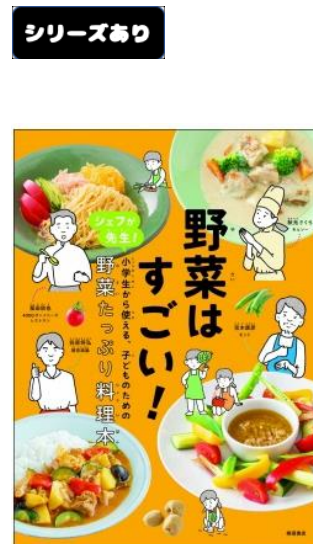
トムは真夜中の庭で



フィリパ・ピアス/作
高杉一郎/訳
岩波書店（岩波少年文庫）
[3-0200035157] ヒ

真夜中に、ホールの大時計が13時をうった。トムが目にしたのは、花が咲きみだれ、木がおいしげる広い庭園だった。そこはせまい空き地のはずだ。トムは庭園に足をふみ入れた。でも、そこにいる誰にもトムの姿が見えないようなのだ。

野菜はすごい！



秋元さくら/著
笠原将弘/著 宮木康彦/著
柴田書店
[3-0500931813] 59.6

フランス料理や日本料理のシェフ4人が、キノコそばやハヤシライスなど野菜を使った54のレシピを紹介。たくさんの写真を使って、切り方から盛りつけまでを詳しく説明しています。自分で作れば、苦手な野菜もおいしく食べられるかも？！

海辺の宝もの



ヘレン・ブッシュ/著
鳥見真生/訳
あすなろ書房
[3-0212029364] フ

メアリーは、学校や友だちよりも、とうさんに習った海辺の「変わり石」集めが大好き。むかしは海の生きものだったのに、いまは石に変わっている。なんて不思議なんだろう。ある日、メアリーは浜辺で、大きくてめずらしい骨の石を見つけた。

アフガニスタンのひみつの学校



ジャネット・ウィンター/作
福本友美子/訳 さ・え・ら書房
[3-0500950414] えほん ウ/あか

ナスリーンの住む国では女の子は自由に外出できず、学校にも行ってはいけません。突然、両親を兵士に連れていかれた彼女はひと言も話さず、笑わなくなりました。ナスリーンを心配したおばあちゃんは、ひみつの学校へ連れていきます。

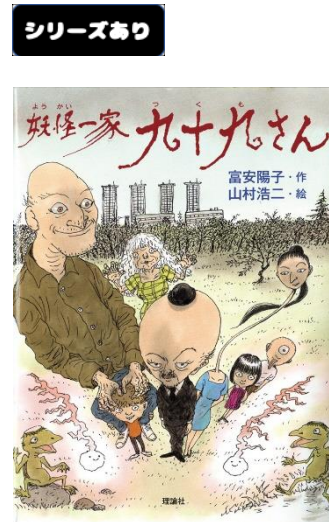
おずかん 押す図鑑ボタン



西村まさゆき/編・著
小学館
[3-0500973925] 04

ボタンには、つい押したくなる魅力があります。この本では、バスやゲーム機のボタンから「いいねボタン」まで、いろいろなボタンが紹介されています。作り方や仕組み、工夫などをすると、身の回りのボタンを探してみたくになりますよ。

妖怪一家九十九さん



富安陽子/作
山村浩二/絵 理論社
[3-0212003576] と

あだしのほら 化野原の妖怪は、ヌラリヒョンがシッピとなり、人間の団地の地下12階に住むことに。でも、見越し入道おじいちゃん人間を驚かせるし、やまんばおばあちゃんは飼猫を連れ去って食べようとするし、パピはヤレヤレとため息をつきました。